

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・アベノミクスでどんどん良くなっていく。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・遷宮関連行事が、これから連続して行われる。地域住民が熱心に活動していることに加えて、参拝客数、観光客数も増えている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・遷宮が近づき、周辺を中心に活況である。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・来客数は、前年同月比で3.6%以上も増えている。
	やや良く なっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・前年の同時期と比べると、飲食店街への人の流れが出てきている。特に若者が出入りする店に、変化が出てきている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・クリアランスは例年ならば2月初めで終わるが、今年は26日までクリアランス商品を出している。セールでは客は立ち止まって見てくれるが、セール品よりも定価品を買っていく客が多い。夕方来店する客は、ほとんどが目的買いであり、夕方6時以降の売上が良くなっている。
		百貨店（経理担当）	来客数の動き	・自社を含む小売業全般で、コストパフォーマンスを重視した選択型消費の傾向は変わっていない。しかし、前年同月を上回る来客数の動きから、消費意欲は持続的に改善している。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・クリアランス、バレンタインデー、物産展などにより、好調に推移している。アベノミクスによって、消費マインドがやや上向きになっている。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・富裕層は安定しており、その次の上位顧客にも動きがある。景気に影響されやすい層でも、活発ではないものの動きが出始めている。提案に対して無反応ではなく、反応が出やすい状態へと変化している。ただし、天候等の影響を受けやすく、安定はしていない。
		百貨店（販売担当）	競争相手の様子	・今月の売上は前年同月比で150%を超えており、非常に好調である。同業者も同様であり、全体的に好調である。消費税増税前の需要もあるかもしれないが、久しぶりに明るい様子である。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・寒さの影響もあり、衣料品の動きは鈍い。しかし、宝飾時計、海外輸入ブランド等の高額品の動きは、引き続き活発である。
		スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・厳しい状況は続いているが、下限価格帯であるプライベートブランドのヨーグルトや豆腐を中心に販売は伸び、下げ止まり感が出てきている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・来客数が、前年同月を上回るようになってきている。ただし、全体的な平均単価は依然として低く、前年同月を上回るのに苦戦を強いられている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車の投入効果により、販売台数は堅調に推移している。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・車検等による来客数が、多くなってきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・年末と比べて、1、2月の販売台数は大幅に増加している。ただし、前年同月の販売台数と比較すると、エコカー補助金の終了に伴い、2～3割は減少している。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・販売量の動きは、少し良くなっている。少し高い車が売れている印象がある。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・以前と比べると、店頭への来客数が増えており、活気も出てきている。ただし、前年同月と比べると、受注台数は1割程度減少しており、市場はまだ厳しい。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・株高による資産効果と、ガソリン高に伴う低燃費車への買換え効果で、新車販売は上向いている。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・一戸建て住宅、分譲住宅、分譲マンション、賃貸共に、上昇傾向である。リフォームも伸びている。消費税増税を前提に、早めに購入する動きが出ている。また、公共投資も増加傾向にある。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数が減少傾向にあるなか、客単価は持ち直している。また、イベントに対する客の反応も、やや改善してきている。		
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・週末の客の動きが良くなっている。		

その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・政権が安定し、株高などの好影響のもと、少しずつではあるが良くなっている。	
観光型ホテル（販売担当）	単価の動き	・ここ数か月間は時期的な理由もあるが、宿泊稼働率の低下が気になる。しかし、周囲の競合他社の動きをつぶさに見渡して、単価上昇を図った施策により、収入は予算目標、前年同月共にクリアしている。宴会部門は、最近では製菓関連の動きが明るく、利用頻度が上がっている。今後は、住宅関連などの駆け込み需要がターゲットになるかもしれない。	
都市型ホテル（経営者）	お客様の様子	・政権交代後の景気の動きに、民間は敏感に反応している。	
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・来客数は順調に伸びており、客の様子も期待を込めて明るい感じがする。	
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・1月中旬以降、受注は右肩上がりの傾向にある。一時的なものかと思っていたが、爆発的な受注はないものの、今月も比較的堅調に受注している。	
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・急激に円安が進む中、卒業旅行シーズンともあいまって、海外旅行の駆け込み申込みが増えている。3月までは、旅行申込みの増加が続くと予測する。	
タクシー運転手	来客数の動き	・寒い日が続いているにもかかわらず、夜の利用客が多い。中距離、長距離の客がある。	
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・解約数はあまり減っていないが、新規契約や新規加入の問い合わせが増えており、反応は良くなってきている。	
通信会社（サービス担当）	来客数の動き	・光回線の最高スペックへの切替えと、長期割引のサービス申込みが増えている。また、引越シーズンに入ったため、移転に伴う新規申込みも増えている。	
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・デパート等へ買物に出掛けると、中年夫婦の買物客が前年と比べて増えている感じがする。	
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・わずかながら、来場者数は増えている。良い方向に向かっている。	
美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・ホワイトニングの商品が、出るようになってきている。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・客は、少しばかり前向きに住宅新築を考えるようになってきている。	
変わらない	商店街（代表者）	それ以外	・長年付き合いのある取引業者が、3月いっぱいまで廃業する。また、別の業者からも、夏を目途に廃業するとの連絡が入っている。中小企業ではまだまだ試練が続いており、厳しい景気状況である。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・売上の前年同月比は変わっておらず、下げ止まっている。ただし、来客数は増えているが、客単価が下がっている。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数が少ない。客単価も低く、販売量や売上に結び付かない状態がずっと続いている。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・客に購買意欲は見られるが、それが売上に繋がっておらず、あまり変わっていない。
	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・食品には、景気好転の兆しはまだまだ見られない。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・円安になっても、景気が上向いているとは思えない。必要なものだけ買う傾向はまだまだ続いており、依然として財布のひもは固い。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客単価が低い。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・厳しい寒さのため、客の動きが悪い。飲食店も含めてどこの店に開いても、暇とのことである。この寒さでは、買物に行きたくないのも当然かもしれない。インフルエンザ、風邪も、全体的には流行していない。今年は多いとされる花粉症次第である。
	一般小売店〔自然食品〕（経営者）	販売量の動き	・前年と同じような推移で動いている。
	一般小売店〔食品〕（経営者）	お客様の様子	・例年になく寒さが続いており、商店街の来客数もやや少なめである。客からは近くで用事を済ませようとする様子を感じられ、前年同月と同程度の実績である。野菜や輸入食材が値上がりしているが、価格転嫁できない厳しさがある。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・全体としては変わっていないが、良い先と悪い先が混在して二極化している。プラスの傾向もマイナスの傾向もなく、収支はとんとんである。

一般小売店〔書店〕（経営者）	単価の動き	・小売店では政権交代に非常に期待しているが、まだ実感できるところには至っていない。客が単価の高い商品を買いはじめたと思う日もあれば、やはり変わらないと思う日もある。少しずつ良くなってはいるが、現在はまだ波があり、全体としては変わっていない。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・例年よりも寒いせいか、春物がまだ動いていない。その代わりに、例年ならば動きが終わっている冬物の手袋、マフラー等の小物が、まだ売れている。
百貨店（経理担当）	来客数の動き	・円安、株価上昇に伴い宝飾品等の動きが良くなっているとの報道があったが、そうした実感はまだない。気温がなかなか上がらないため、売場では春物へと移行した衣料品も低調である。
百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・このところ、購入率が低下しており、前年同月比はマイナスが続いている。高額品の動きはまずまずであるが、大きな変化は見られない。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・円安が続き、デフレは徐々に収まってきている。円安は原油価格の上昇につながり、電気・ガス、クリーニング等の料金が値上がりしている。景気はまだ良くなっていないため、本年入学する大学生の親の収入も増えておらず、東京方面の大学に行きたいのに我慢して地元の大学に行くという人が増えている。景気が良くなっているという実感はない。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は前年同月比96%前後で推移しており、低迷が続いている。特に買上点数が増えていない。必要な物だけ購入し、余分には買わないといった節約行動が続いている。
スーパー（店長）	単価の動き	・単品単価の下落は、まだ続いている。それによって、客単価も前年同月を下回る状態にある。
スーパー（店長）	販売量の動き	・株価は上がっているが、それが賃金上昇に結び付いていない。そのため、販売量もすぐには増えない。
スーパー（店員）	販売量の動き	・年末と比べると、必要最低限の買物で済まそうとしている様子がうかがえる。単価が高い牛肉などの商品は控えられている。
スーパー（店員）	単価の動き	・単価はずっと変わっていない。必要な物しか買っていない状態が続いている。
スーパー（店員）	販売量の動き	・販売量は、悪い状態が続いているわけでもなく、良かったり悪かったりを繰り返している。良くも悪くもなっていない。
スーパー（営業担当）	販売量の動き	・販売点数は変化しておらず、単価も上がっていない。変化はない。
スーパー（販売促進担当）	お客様の様子	・今月も、前年同月比4ポイントほどのマイナスである。2月後半は、食品を中心として多少上昇傾向が見られるが、当店全体では変わっていない。
スーパー（支店長）	お客様の様子	・買い控えは、まだ続いている。
スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数は、平均するとずっと変わっていない。
コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・円安によって輸出は上向きと言われているが、来客数の前年同月比は変わっていない。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上は、前年同月を上回らない状態が継続している。良くなってはいない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の前年同月比は、前月と同様に大きく落ち込むことなく、横ばいで推移している。しかし、単価は少し低下しており、消費者は景気動向の様子を見ている。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・客が無駄な物を買わない状態は、ずっと続いている。3か月前とほとんど変わっていない。
衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・販売量の前月比は確かに伸びてきており、良くなりつつあるが、前年同月比で見ると、まだ少ないくらいである。全体的にまだまだ景気は回復していないが、客との会話からは、最悪期を脱した雰囲気は感じられる。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・販売不振は底を打ち、上昇に転じると予想していたが、実際には特に伸びていない。
家電量販店（店員）	お客様の様子	・建築業では、消費税増税前の駆け込み需要がある。東北地方の復興関係に伴う人手不足や品薄も、入り混じっている。ただし、消費面には、あまり影響は出ていない。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売量は増えてきているが、客との会話では、景気が良い人と悪い人の差が激しい。

	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・一部の企業では景気回復の兆しを感じているかもしれないが、中小企業の多くは厳しい経営を続けている。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・政権交代に伴い、多少良い状態が続いている。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・1月から決算に向けての取組により、販売台数は目標値を達成している。来客数も前年同月を上回っており、活況と言って良いかもしれない。ただし、維持費を安くしたいためか、燃費の良い小型車ばかりが売れており、点検等も受けない傾向が増えているため、収益は前年同月と変わっていない。特に夫婦世帯、家族世帯では奥様の維持費に対する目が厳しく、今まで以上に詳しい説明を求められるケースが多くなっている。
	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・人気の輸入車種もあるが、在庫が少なく、登録台数には結び付いていない。
	その他小売 [ショッピング センター] (経 理担当)	販売量の動き	・政権交代があり、マインドは上向きになっていると推測されるが、具体的な数字には表れていない。
	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・企業の宴席は、相変わらず伸びていない。宿泊については、件数は悪くないが価格に敏感であり、また間近での予約ばかりである。
	旅行代理店 (経 営者)	お客様の様子	・景気回復の兆しは、まだ感じていない。何の実感もない。
	旅行代理店 (経 営者)	単価の動き	・依然として、単価は横ばいである。円安のため、時期によっては航空運賃が高くなりつつあるが、その分は格安航空会社が埋めていくと思われる。
	タクシー運転手	来客数の動き	・例年2月は落ち込みが激しい時期であるが、それほど極端な落ち込みはない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月は天候が非常に荒れて、みぞれ等が降ったりし、通勤時間帯のタクシー利用客が多かった。風邪等も流行っており、病院へ出掛ける利用客も多かった。ただし、金曜日以外の夜間の利用客数は、特に月、火曜日が少ない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・動きはあまり良くない。夜の繁華街、飲食店街の出入が少ない。飲食店の経営者や客の中には、良くなってきたと話す人もいるが、全然良くなっていないという声の方が多い。
	通信会社 (営業 担当)	販売量の動き	・次世代ネットワークサービスの販売動向は、あまり変わらず推移している。
	観光名所 (案内 係)	お客様の様子	・前月は少し良くなりそうな明るい雰囲気があったが、それほどでもなく、元に戻った感じである。
	ゴルフ場 (企画 担当)	来客数の動き	・今月前半の各ゴルフ場の予約数は、前年同期比5～25%上昇しており、順調であった。しかし、中旬頃からは寒波に伴う降雪の影響があり、現時点では予算目標比でかなりのマイナスになっている。ただし、前年と比べると来場者数は好転しており、景気はあまり変わっていない。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・横ばい状態にある。
	その他住宅 [不 動産賃貸及び売 買] (経営者)	お客様の様子	・株価の上昇など世間では回復傾向に向かっているようであるが、当店の来客数や客単価には表れていない。客の購買意欲は、上がっていない。
やや悪く なっている	百貨店 (販売担 当)	販売量の動き	・寒さに加えて、生活必需品等の値上がりによる影響のためか、買い控えが感じられる。
	スーパー (経営 者)	お客様の様子	・中小の小売店や飲食店では、前年同月比で2けたほど来客数が減っており、大変悪い状態が続いている。
	スーパー (店 長)	競争相手の様子	・競合店では、日配食品の特売が激しくなっている。その他の主力品でも他店を価格調査して、他店を5～10円下回る価格に変更している。その影響で、当店の日配食品の前年同月比は大幅に落ち込み、店全体の来客数も前年同月比で2%減少している。
	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・来客数や客の会話内容も含めて、全体的に良くない。景気の良くない話ばかりを聞く。注文があっても、経済的な車を求められることが多い。特別何かが悪いわけでもないが、景気は良くない。
	その他小売 [ショッピング センター] (営 業担当)	販売量の動き	・来客数は前年同月並みであるが、販売量に結び付いていない。

		スナック（経営者）	来客数の動き	・例年2月は静かな月ではあるが、今年は天候の悪い日が多く、人出が少なく、売上は減少している。4、5月は歓送迎会の予約が入ってくると思われるため、今月は出控えしていると思われる。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・前年同月比は若干プラスで推移していたが、ここに来て、宿泊客、昼食客、夕食客共に、前年同月比90～95%と減少傾向にある。前年は東日本大震災の1年後で、復興需要への期待もあったが、その効果は薄れてきている。アベノミクスの波及効果も、まだ見えてきていない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・雪が非常に多く、客の動きは今一つ良くない。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・例年2月は暇であるが、今年は更に来客数が少ない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・例年2月の来客数は減るが、今年は更に減っている。イベントがない限り、来店しない傾向にある。
		美容室（経営者）	単価の動き	・総理大臣が変わっても、美容院への波及効果は出てこない。
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・来客者の話によると、東京ではそろそろであるが、名古屋ではまだまだであると聞く。
悪くなっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・競争が激しく、販売量はなかなか伸びてこない。高額は出にくい。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・来客数、売上単価、買上単価共に、かなり低下している。ただし、例年の傾向もあり、それほど心配はしていない。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・低温のせいもあり、ソフトドリンクの売上が非常に悪い。ペットボトルでは、500ミリリットル、2リットル共に、スーパーとの価格差が以前より増しているのも、一因と思われる。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・シーズン中に正規価格で買っていた客が、バーゲンで買っていく傾向がずっと続いている。客の来店回数で、売上は大きく変わっている。
		その他専門店〔貴金属〕（店長）	お客様の様子	・消費者は政治の行く先を眺めている状態であり、セール中でも売上は前年並みである。景気が良くなった実感はない。経済の活性化に期待する。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が、とにかく少ない。
		一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・雨が降ると外出しない人が多いが、寒いためもっと外出しなくなっている。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きが良くない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・景気が悪いと、パーマをかける回数は減る。景気の悪さを痛感している。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・巷には景気の良い話題が流れるが、周囲では景気の良い話は聞かれない。客は、相変わらず安い店に流れている。
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・他業者も含めて、全般的に売上は悪い。値下げしても、今一つの状況である。
	企業動向関連 (東海)	良くなっている	—	—
やや良くなっている		食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・外食チェーン店などでは、来客数が伸びていると見られる。自分自身の外食機会も増えている。景気回復への期待感からか、消費意欲は上向いてきていると感じることが多い。
		化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・医薬品業界には特段の変化は見られないが、政権交代による期待感から株価が上昇し、スーパー等でも財布のひもが緩んできたように思われる。
		窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・これまでは円高で海外製の耐火物を使用していた客が、円安によって日本製品の使用を積極的に検討するようになってきている。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・円安になり、今まで止まっていた引き合いやプロジェクトが動き始めている。また、今までは値引きしても決まらなかった商談がまとまり、受注できている。
		電気機械器具製造業	取引先の様子	・地域の情報通信インフラの高度化に向けた公共投資の増加により、設備投資計画が進みつつある。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安傾向で、発注量が安定してきている。

輸送用機械器具製造業（財務担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安により、輸出の採算が改善している。	
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・多少は良くなっている。ただし、世界経済がまだ持ち直していないためか、前年の今頃と比べると悪い。	
建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・不動産開発業では、マンション、戸建共に、好調な売行きである。	
輸送業（経営者）	取引先の様子	・円高の是正を背景に、輸出型メーカーの生産量が戻ってきている。	
輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・電車の貨物用台車やトレーラーなど、10～15台のまとまった荷物の出荷が多く出るようになってきている。	
通信会社（法人営業担当）	それ以外	・アベノミクスによって、消費者マインドは向上している。百貨店では、腕時計やネックレス等の高級品の売上が増えている。	
金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先では、自動車部品メーカーの受注が総じて増加しており、工場稼働率が向上している。	
金融業（企画担当）	取引先の様子	・これまで個人投資家は株や投資信託で損していたが、前年11月以降の円安株高の流れを受けて、損は回復しつつある。一部では儲けが出ている。消費者マインドも上がり、消費に向けた動きはより活発になると思う。	
企業広告制作業（経営者）	それ以外	・アベノミクスへの期待が、景気を刺激している。株高や円安など、景気回復の気分が実体化したことは大きい。	
公認会計士	それ以外	・円高の改善が見られる。	
その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・大手自動車メーカー関連で、大小様々な案件の依頼がきている。	
その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・やっとなり少し動きが出てきたようである。このまま上向きになっていって欲しいものである。	
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・安定した円安に対して経済界では安どの声やしきりであるが、これが安定するかどうかは疑問である。より一層の対策と、各企業の努力が必要である。金融界にも、適切な対応を要望したい。競合他社も忙しそうである。	
変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新政権になり良い雰囲気になっているが、景気に具体的な変化はない。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の飲食店の売上が、年明け以降低迷している。
	化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・政権交代に伴う円安、株高は、輸出依存度が高い企業にとっては、利益貢献度が高い。しかし、原料メーカーなど生産財企業では、効果が遅れることが予測される。
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に、前年よりも若干下回っている。悪い状況から良くなっていく兆候も、中小企業の仕事の中ではまだ見えてこない。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・いったん上昇した後、安定的に推移している。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・円高が是正されつつあるが、為替予約などもあり、直ちに業績に反映される状況にない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社は最終的には輸出商品になる部品製造メーカーであるが、為替が安定的ではないため、まだ受注に踏み切れない。数か月間は、横ばいが続いている。
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・取引先の生産計画は、3か月前と比べると変わっていない。
	建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・下水道関係で減っている部分もあるが、一戸建てが増えてくる時期と重なり、受注量は増えてくる。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・一定した傾向はみられない。

	輸送業（エリア担当）	競争相手の様子	・他社の見積を見せられ料金見直しを要請された企業が、応じられないと回答したところ、その仕事は他社に流れたとのことである。また、その仕事を受けた会社では、数か月後に再び料金見直しの要請をされ、しぶしぶ応じたようである。運賃競争はまだまだ続けている。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・うるう年であった前年同月と比べると、営業日数が1日少ないため、発送、到着共に、物量は前年を下回っている。	
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・中小企業金融円滑化法の終了に伴い、景気は減速すると予想されるが、現時点ではその影響は表れていない。	
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・取引先は中小企業が中心であるため、円安のメリットはまだ享受していない様子である。	
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・企業側からの受注量は、あまり変わらず推移しているが、動きはほとんどない。	
	行政書士	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きは、普通である。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・中小企業ではこれまで、役員報酬、家族給与、貸付地代・家賃で、会社の利益を調整してきた。しかし、減額を実施した後、回復していない企業がほとんどである。中堅企業では調整が難しいため行えないが、決算報告を見ると、報酬が増加に転じている企業は少ない。	
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・売上、所得共に、あまり変動がない。	
やや悪くなっている	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先から、価格協力の依頼が増えており、販売価格は低下傾向にある。4月以降は、販売価格、受注量共に悪化が見込まれる。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年ならば受注量が多くなる時期であるが、前年同月比10%程度のマイナスになっている。	
	金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車産業の取引先では、この先の目処が立っておらず、景気は若干悪い方向に向かっているとの意見が多い。	
悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の設備投資が大幅に減ってきているため、当社の生産は少なくなり、売上も減少している。	
雇用関連 (東海)	良く なっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・大型商業施設の開店に向けて、関連求人の動きが目立つ。
	やや良く なっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・人材紹介の登録者に求職状況を確認すると、再就職が決まった人が多く見受けられるようになっている。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・円安による追い風を受けて、大手メーカーが増産にシフトしつつある。それにより、周辺企業にもまもなく恩恵が出てくると思われる。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・客からの引き合い件数が、増加している。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・自動車産業では、このところの円安で、生産台数が上向きの傾向にある。そのため、周辺企業の業績も上向きである。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が伸びている。ただし、地場産業の焼き物、瀬戸物の企業では、整理的な届け出が数件出ている。	
変わらない	人材派遣会社（経営企画）	求職者数の動き	・人材ビジネスでは、需要過多であり、人材獲得競争が激しい。供給がままならないため、売上を伸ばすことは困難である。	
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・大企業ではある程度の求人を見込めるが、中小企業ではまだそこまでいっていない。それと同時に、なかなかマッチングができないのが現状である。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・送別会、婚礼の利用状況が好調である。	
	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・株価の回復が印象に強い。	
	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数は、前年同月比90%と減少傾向である。テレマーケティング案件の比率が、5%上がっている。4月の契約更新に向けた派遣依頼の求人数の動きが、例年に比べて遅い状況になっている。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・株価上昇、円安はあるものの、仕事も生活も一進一退であり、まだ何も変わっていない。	
新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求職者数の動き	・大型商業施設の開業に向けて、飲食、物販の新規求人の動きが目立つ。製造関連の求人は、相変わらず厳しい状況にある。		

	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、前月と比べてやや減少している。自動車部品等の製造業では、円安に伴う増産があっても、3、4次の下請ではまだその内示がない事業所が多い。また、単価の低下や原材料の高騰を背景に、新規求人があっても、非正規が中心である。一方、建設・土木等の専門職や福祉・介護関係の求人は増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は増加しているが、当地の基幹産業である製造業の求人数は横ばいまたは減少気味であるため、あまり変わらない。
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・新規求人数は増加傾向にあり、数だけを見ると採用意欲が増しているように見える。しかし、契約、嘱託、派遣社員の比率が大幅に伸びており、正社員の比率は40%台前半になっている。
	民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・求人数の推移を見ても、政権交代による経済効果はあまりない。
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・金融業界では、派遣から直接雇用への切り替えに動いていることもあり、派遣業界にとっては逆風である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は増加しているが、その内容は労働者派遣業のサービス業、医療・福祉業、建設業であり、製造業は依然として前年同月比マイナスの傾向にある。そのうち医療・福祉業は、景況感に左右されることなく増加が続いている。建設業は、補正予算によって公共工事が増えたことが要因である。そのため、求人増の継続性があるかは疑問である。
	職業安定所（次長）	求職者数の動き	・求職者数の前年同月比は、平成24年10月以降、増加傾向に転じている。1月には4か月連続の増加となり、2月の暫定値も増加である。窓口の様子を見ても、年度末を待たずに、求職者で途切れることがない。その一方で、求人数の前年同月比も、上昇率は低下したものの、依然として上昇している。大規模な雇用調整の情報も、今のところない。
悪くなっている	—	—	—